令和７年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
外国語	英語コミュニケーションⅠ（習熟）	２	１－２～１－６

１．学習の到達目標

・英文法の基礎的・基本的事項（中学英語）の確認と徹底を図った上で、高校英語を充実させる。
・習熟度別編成の主旨が生きるように、それぞれのクラスで創意工夫した授業をする。
・辞書の使い方を学び、身近な学習ツールとして親しみ、自ら進んで使用するようにする。
・授業を通して、人権問題等を考える機会を持つ。

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	2. be 動詞 3. 一般動詞の現在形 4. 動詞の過去形 9. 進行形	＊be 動詞を理解し、英作文できる ＊現在時制、過去時制の動詞の変化を覚え、疑問文や否定文を作ることができる ＊現在進行形・過去進行形を理解し、英作文できる
２学期	10. 未来表現 11. 疑問詞(1) 12. 疑問詞(2) 13. 助動詞 14. 不定詞(1) 15. 不定詞(2)	＊未来表現の形を理解し、英作文できる ＊様々な疑問詞を理解し、疑問詞を使った英会話ができたり、それを英作文できる ＊様々な意味の助動詞を理解し、英作文できる ＊不定詞の３つの用法と不定詞を使った重要表現を理解し、英作文できる
３学期	17. 動名詞 19. 比較 23. 受け身	＊不定詞と動名詞の違いを理解し、英作文できる ＊形容詞・副詞の原級、比較級、最上級の形とそれを使った比較表現を理解し、英作文できる ＊受け身の用法を理解し、英作文できる

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	定期考査、小テスト、提出物、授業態度などによる総合評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。	日常的な話題や社会的な話題について、外国語でその情報や考えなどの概要や要点、詳細を、話し手や書き手の意図を的確に把握しながら表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

４．使用教科書・副教材

使用教科書	Reach for the Big Dipper －英語の基礎定着ノートー（数研出版）
副　教　材	英和辞書 The New Victory Anchor（学研）、辞書は友達（学研） ESSENTIAL WORDS①（中部日本教育文化会）